

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

H 2 6 年 第 2 回 (3 月) 定 例 会

- 1 宮 澤 一 照
- 2 樗 沢 諭
- 3 丸 山 喜 一 郎
- 4 吉 住 安 夫
- 5 山 川 香 一
- 6 塚 田 克 己
- 7 横 尾 祐 子
- 8 渡 辺 幹 衛
- 9 関 根 正 明

予算質疑通告要旨

H26年第2回（3月）定例会

1 宮澤 一 照

- 1 総務費の企画費に関連して
 - 1) 未来デザイン調査研究事業について
 - 2) 駅周辺地域活性化事業について
 - 3) 北陸新幹線・並行在来線対策事業について

- 2 総務費の一般管理費に関連して
 - 1) 空き家等適正管理事業について
 - 2) 携帯電話エリア整備事業について
 - 3) 協働型地域コミュニティ創出事業について

- 3 衛生費に関連して
 - 1) 医師確保・地域医療対策推進事業について
 - 2) 鳥獣対策事業について

- 4 老人福祉費に関連して
地域安心ネットワーク推進事業について

- 5 教育費に関連して
地域の元気づくり活動助成事業について

2 樗 沢 諭

- 1 未来デザイン調査研究事業について
 - 1) 過去3年の重点、調査研究の項目と新年度の新ビジネス創出の項目は。
 - 2) 妙高の地域資源の活用・民間活力の導入について

2 空き家等適正管理事業について

- 1) 現在の新井地域・妙高高原地域・妙高地域の空き家の件数は。
- 2) 妙高市空き家等の適正管理の条例制定初年度の取り組み内容と効果は。
- 3) 作業委託・協働作業に対する支援の基準・内容は。

3 北陸新幹線・並行在来線対策事業について

- 1) 北陸新幹線「上越妙高駅」の乗降客数を1日当たり3000人程度と想定している根拠は。また、そのうち妙高地域の人数の想定は。
- 2) 新幹線まちづくり推進上越広域連携会議の事業内容は。
- 3) 上越妙高駅から妙高方面への二次交通対策は。
- 4) 上越妙高駅まで1時間・2時間圏内の地域が大幅拡大するが、対応策は。
- 5) 並行在来線の開業前の重点施策は。

4 地域経済活性化支援事業について

- 1) 街なか商店の特長・課題は。
- 2) おもてなしステーションの設置、街なか散策マップの効果は。
- 3) プレミアム商品券の経済効果は。

5 生涯学習推進事業について

- 1) 市内の生涯学習の現状と課題、また強化策は。
- 2) 新たに配置する生涯学習指導員の具体的な活動と人選方法は。

3 丸山喜一郎

1 スポーツ施設管理運営事業について

- 1) 施設の利用促進について
- 2) 施設の維持管理について

2 駅周辺地域活性化事業について

- 1) 駅周辺地域活性化ビジョンの具体的な内容は。
- 2) (仮称) 駅周辺地域活性化検討委員会の委員の選定はどのように行うのか。
- 3) 駅周辺に、飲食店や妙高市の特産品販売所など人の集まりやすいスペースが必要と考えるがどうか。

3 少子化対策強化事業について

- 1) 「関係者等による少子化対策に係る連携会議の開催」とあるが、その関係者とは。また、具体的に実行すべきことを話し合い、平成 26 年度に実行するのか。実行するとすれば予算は。
- 2) スマートフォンアプリの開発に当たり、委託先はどこを想定して予算計上しているのか。また、平成 26 年度中に利用可能となるのか。
- 3) 少子化対策として、安心して子供を産み育てるためには、雇用の確保や職場における産休・育休への理解や支援が不可欠と考えるが、環境整備の取り組みの考えはあるか。また、「出産祝い金」の考えはないか。

4 吉住安夫

1 「地域のこし」と少子高齢化対策について（人口減少社会への総合的な対策の強化、妙高発「地域のこし」の推進、協働型地域コミュニティ創出事業、妙高ふるさと暮らし応援事業、妙高出会いサポート事業、少子化対策強化事業、住まいのリフォーム促進事業、住宅取得支援事業など）

全国的な少子高齢化により、地域コミュニティ機能が維持できない地域が出ている。市は、「地域サポート人・地域のこし協力隊」を配置し、コミュニティへの支援を図っているが、市街地域も例外ではなく高齢化の影響が出ている。課題の把握や解決方法をどのように捉えてどのように取り組むのか。

2 地域で支える子育て・教育について（小学校教育振興事業「コミュニティ・スクール関連」など）

少子化が進み、保育園・小学校の整備構想により、地域から保育園や小学校が統廃合され消えていくことは、地域の核としてのつながりがなくなることになる。「地域と園」、「地域と学校」が連携し、力を合わせていくことで子供の学力向上にもつながっている。市内の学校の手本である学校が消えようとしている。地域で支える子育て・教育をどのように考え、どのように取り組むのか。

3 防災力・減災力の向上について（コミュニティ防災組織育成推進事業など）

安全・安心な市民生活のために防災体制を見直しているが、高齢化により避難誘導が難しい地域では、どのように自主防災組織と連携を図り情報の共有を図っていくのか。また、災害の種類によっては、行政と地域の的確な連携がさらに重要となるが、どのように取り組む考えか。

4 防災体制整備事業と地域集会施設等耐震化推進事業について

市内の拠点避難所は、ほぼ耐震化が完了し備蓄計画も進んでいる。拠点避難所までの距離がある地域では集落の避難所に身を寄せざるを得ないが、このような地域の避難所の耐震化整備や支援対策はどのようなか。また、地域とどのように連携して取り組むのか。

5 山 川 香 一

1 北陸新幹線・並行在来線対策事業について

北陸新幹線の開業効果を最大限に発揮させるための「越五の国」での連携、首都圏からの交流人口の拡大のためのプロモーションの強化、受入環境の整備とあるが、具体的な内容は。

2 広報・広聴活動推進事業について

市報みょうこうやお知らせ版、ホームページ、妙高チャンネルの情報をわかりやすく適切な時期に発信する、番組の独自性を高めるとあるが、具体的な内容は。

3 就労支援事業について

新卒就職者やU・Iターン就職者に対しての必要な資金の貸付や資格取得費用の助成とあるが、具体的な取り組みは。

6 塚 田 克 己

1 平成 26 年度予算編成について

1) 自主財源と依存財源に対する認識はどのようなか。

2) 歳入財源の確保はどのようなか。

3) 歳出の抑制はどのようなか。

事務事業や継続事業の見直しの成果はどのようなか。補助金や負担金、委託料の見直しをどのように進めたか。

4) 財政調整基金の利用は歳出を優先した予算編成でないか。

2 総合計画策定事業について

- 1) 第1次総合計画との違いはあるのか。
- 2) 構想には人口推移や財政見通しをしっかりと位置づけるべきと考えるがどうか。
- 3) 総合計画について議会への対応はどのようか。
- 4) 平成27年度の予算編成に対応できるスケジュールで策定すべきと考えるがどうか。

3 並行在来線の開業に向けた駅周辺地域活性化事業について

- 1) 検討委員会の内容はどのようか。
- 2) ビジョン策定後の取り組みは開業に間に合うのか。

4 人口減少社会への総合的な対策の強化に関連して

- 1) 少子化対策強化事業について
公園や学校等の空き地を利用した子供自転車公園やバランスバイクを設置してはどうか。
- 2) 住まいのリフォーム促進事業について
市民ニーズに対応するには1住宅1回限りでなく、再度利用も考えるべきではないか。
- 3) 住宅取得支援事業について
制度内容を充実すべきと考えるがどうか。

5 防災力・減災力の向上に関連して

- 1) コミュニティ防災組織育成推進事業について
市民、行政、地域の役割と責務を基本とする一体的防災体制の強化のため、マニュアル条例を制定すべきと考えるがどうか。

6 総合健康都市の推進に関連して

- 1) 国民健康保険税の改定について
低所得者など社会的・経済的弱者への配慮をどう進めたか。
- 2) 総合体育館（はねうまアリーナ）の運営について
トレーニングルームの利用について

1 並行在来線開業記念事業について

- 1) どのような記念事業を計画しているのか。
- 2) 会場は妙高高原駅だが、今の現状で観光客や市民へ十分なおもてなしができるか。

2 観光誘客支援事業について

- 1) 妙高山麓周遊バス「ぶらっと妙高号」を妙高高原駅へ接続する意図は。
- 2) スキーエリアシャトルバスおよびナイトシャトルバスの運行の平成 26 年度の取り組み内容は。

3 大洞原みんなの花園整備事業について

- 1) 住民の参加を募り開墾、植栽、収穫作業を実施しているが、平成 26 年度の参加者数の見込みは。
- 2) 花畑を活用した花まつりの 2 回のイベントを、より盛況に開催するための考えは。
- 3) ファミリーでの来訪者を満足させるために、休憩場所等の工夫が必要と考えるが。

4 市民主体の健康づくり事業について

- 1) 「歩こう！妙高！健康プログラム」の実施の内容は。
- 2) 健康フェアの開催について

5 食育推進事業について

- 1) 生活習慣病予防のために減塩事業を実施しているが、市民生活に定着してきているか。
- 2) 第 2 次食育推進計画の改訂版の策定とあるが、どのように改めるのか。
- 3) 食生活改善推進委員の活動は地域に密着しており、食育の推進に期待しているが、平成 26 年度の活動の主なものは何か。

6 ごみ減量・リサイクル推進事業について

- 1) 新生児おむつ用ごみ袋の無償交付で、新生児 1 人当たり 100 枚とした根拠は。
- 2) 事業所ごみの減量・資源化の取り組みの 1 つとして、機密文書を無料で引き取り、破碎し、資源化する取り組みを 3 月から始めているが、今後さらに周知する考えは。
- 3) 食べ残しゼロ運動の推進はどのように取り組むのか。

1 消費税増税分の転嫁について

平成 26 年度予算審議の冒頭に市長の見解をたずねたい。

2 職員能力開発事業に関連して

「政府は、2013 年度中に公務員給与削減に応じなかった自治体に対し、今年 5 月に配分予定の公共事業関連の補助金を減らす方針を固めた」と報じられた。地方の自主性を奪う暴挙だが、市長の見解は。

3 行財政改革推進事業に関連して

1) 一層の民営化を進めるというが、公契約条例もない状況下では、非正規・低所得者を増やすだけになる。どのように担保されるか。

2) 平成 26 年度における非正規職員の待遇改善はどのようなか。

3) 年金支給開始年齢の先送りとの関連で、昨年 4 月以降雇用延長が義務付けられたが、どのような対応状況か。

4 協働型地域コミュニティ創出事業に関連して

地域コミュニティを重視している。学校や幼保園の整備構想が「地域のこし」など行政全体で熟慮されたものではなく、教育委員会事務サイドの「構想」であることが市民の不信を招いている。「学校整備構想」に端的に見られるように「どのような地域をどのようにのこすか」という議論が不十分ではないか。

5 空き家等適正管理事業に関連して

県有施設は条例対象外だが、池の平スポーツハウスについての県との協議状況は。

6 総合計画策定事業に関連して

どのような人的体制で作業を進めているのか。

7 妙高支所駐車場整備事業に関連して

昨年度の妙高支所での積雪量観測値は、周辺地域での実態に合わなかった。対応が必要ではないか。

8 子育て世帯臨時特例給付金給付事業に関連して

給付方法とDV被害者対応はどのようなか。

9 就労支援事業に関連して

その後のパナソニックの再雇用状況をどのように把握しているか。

10 農業・農村基本計画策定事業に関連して

- 1) 農地集約は後継者問題・荒廃防止等への役割もあるが、今後の小規模農家対応と市の目指す農村像はどのようなか。
- 2) 米国が掲げる自由貿易は、市場のルールや規制を米国ルールに統一しようとする「覇権型」だ。TPPの重要5項目が守れないのなら選挙公約や国会決議どおり交渉から脱退すべきと思うが、市長はどのように考えるか。

11 地域経済活性化支援事業に関連して

過去のプレミアム商品券の販売・利用状況は。

12 企業立地促進事業に関連して

「電源地域振興センターを通じた企業誘致活動」の詳細は。

13 サテライト妙高維持管理事業に関連して

- 1) 平成25年度の経営状況は。
- 2) 平成26年度の見積もり根拠と見通しは。

14 学校給食運営・食育推進事業に関連して

新学期からの給食費の負担状況はどのようなか。

15 基礎学力向上支援事業に関連して

- 1) 小中学校の土曜授業の状況は。
- 2) 妙高市内各学校での学力テスト対策の実態はどのようなか。
- 3) 「子どもの権利条約」は31条で「休息・余暇・遊び」を子供の権利として位置付けている。国連勧告への見解は。

16 スロヴェニ・グラデツ高校交流事業に関連して

- 1) 交流の成果をどのように捉えているか。国民・市民レベルでの交流はどのようなか。
- 2) 先方の大学の日本語講座受講生やマスコミ関係者が加わればPR効果が大きいという提案もあるが。

17 高柳工場団地開発事業特別会計に関連して

今年度末最終補正後の事業全体の収支状況はどのようなか。

9 関根正明

1 携帯電話エリア整備事業について

- 1) 事業者は。
- 2) 予算の概要は。

2 空き家等適正管理事業について

- 1) 管理不全な空き家等認定調査会での認定数は。
- 2) 指導・勧告・命令の実施状況と今後の課題は。

3 駅周辺地域活性化事業について

- 1) 駅周辺地域活性化検討委員会の構成は。
- 2) 駅舎のあり方についての考え方は。

4 農産物直売所売上向上事業について

POSシステムの更新の内容は。

5 シティプロモーション推進事業について

- 1) インターネット広告の考え方は。
- 2) JRの関東方面各駅への四季ポスターの掲出方法は。

6 観光誘客支援事業について

- 1) 誘客支援事業におけるインバウンドの問題点と今後の課題は。
- 2) 地域限定旅行業の資格取得の状況と着地型旅行商品の造成に対する考え方は。
- 3) ネットエージェントのタイアップ先は。

7 観光施設整備事業について

展望広場（赤倉地区）の概要は。